

6. 指導過程

段階	学習活動・内容	時間	○教師の支援 ◎評価	資料
つかむ	1. 本時のめあてをつかむ。 (1)前時の学習を振り返る。 (2)本時のめあてをつかむ。	5分	○萱浜用水ができる前の村の様子や米の取れ高、人口を示した資料を提示し、本時への学習意欲を高める。 ○前時までの学習を話し合い、飢饉に苦しむ人々の気持ちを想起させる。	○村の様子を表した絵 ○米の取れ高 ○人口を表したグラフ
ひろげる・深める	2. 村の人々がどんな願いを持っていたかを話し合う。 (1)飢饉に苦しむ村の人々の気持ちについて話し合う。 (2)村の人々の願いについて話し合う。	12分	○村の人々の苦しい生活を表した資料を見せ、感じたことを話し合うようにさせる。 ○食べ物のない生活の大変さにふれ、考えがまとまるように支援する。 ○安定した食料生産＝安定した生活という観点から人々の願いを話し合わせる。 ○これまでの学習内容を振り返り、安定した食料生産には用水路が不可欠であることを気づかせる。	○村の様子を表した絵 ○水路図
	3. 二宮仕法と富田高慶について知る。	15分	○学芸員の説明から、二宮仕法のあらましと富田高慶の果たした役割について気づき、分からない点を質問できるように支援する。	
まとめる・生かす	4. 村の人々の願いと富田高慶の働きについてまとめる。 富田高慶と村の人々は、食べ物に困らない、安心した生活を送れる村にしたいという願いを持っていた。 願いをかなえるために、二宮仕法を守り、協力して萱浜用水を作った。	10分	○本時の学習ポイントを示したフラッシュカードを提示し、まとめやすいように支援する。 ○学芸員とのT・T方式で、児童の質問や相談に応じる。 ◎村の人々の願いや富田高慶の働きを理解することができたか。(ノート・発表)	○フラッシュカード
	5. 次時の学習内容を知る。	3分	○本時の学習を振り返り、萱浜用水づくりの苦労や工夫について調べていこうとする意欲を持たせるようにする。	○萱浜用水の写真